

橋の耐震性能

耐震性能1・・・地震によって橋としての健全性を損なわない性能

耐震性能2・・・地震による損傷が限定的なものに留まり、橋としての機能の回復が速やかに
行い得る性能

耐震性能3・・・地震による損傷が橋として致命的とならない性能

表1. 耐震性能の観点

橋の 耐震性能	耐震設計上の 安全性	耐震設計上の 供用性	耐震設計上の修復性	
			短期的修復性	長期的修復性
耐震性能1	落橋に対す安全性を 確保する	地震前と同じ橋と しての機能を確保 する	機能回復のための 修復を必要としま ない	軽微な修復でよい
耐震性能2	落橋に対す安全性を 確保する	地震後橋としての 機能を速やかに回 復できる	機能回復のための 修復が応急修復で 対応できる	比較的容易に恒久 復旧を行うことが 可能である
耐震性能3	落橋に対す安全性を 確保する	—	—	—

目標とする橋の耐震性能

表2. 設計地震動と目標とする橋の耐震性能

設計地震動		A種の橋	B種の橋
レベル1地震動		地震によって橋としての健全性を損なわない性能 (耐震性能1)	
レベル2 地震動	タイプⅠの地震動 (プレート境界型の大規模な地震)	地震による損傷が橋として 致命的とならない性能 (耐震性能3)	地震による損傷が限定的 なものに留まり, 橋として の機能の回復が速やかに 行い得る性能 (耐震性能2)
	タイプⅡの地震動 (兵庫県南部地震のような内 陸直下型地震)		

レベル1地震動・・・橋の供用期間中に発生する確率が高い地震動

A種の橋・・・B種以外の橋

B種の橋・・・一般国道の橋

県道, 市町道のうち, 複断面, 跨線橋, 跨道橋及び地域の防災計画上の位置付けや当該道路の利用状況等から特に重要な橋